



乳幼研前夜

- 大きな目的
 - 1 全道に散在する療育者の輪づくり
 - 2 情報提供、情報交換
 - 3 研修と研究



乳幼児療育研究会の活動

- 現状認識
教育・福祉・医療・行政による情報交換とネットワークづくり
- 毎年の研究大会の開催と大会誌発行
- 特別ゲストによる臨時講演会開催



早期療育 刊行（コレール社）1999

- 早期発見・早期療育システム構築（1989年スタート）
 - → 事業展開
 - → 再構築へ
- 移動療育事業から 専門支援事業へ



2000年～2010年の療育活展開動

- 療育対象の拡大
CP から 発達障害全般 へ
- 早期発見から療育システムの確立
6・7小規模通園施設を中心とした地域活動の展開
- 移動療育センター事業から 専門支援 へ 移行
- 地域支援の体制変換
地域療育支援者の養成・研修



2010年～2020年の療育活動

- 児童デイサービスの急速な拡がり
各地で、**公立施設+民間施設**
都市部；民間・企業化した児童デイサービスの林立
郡部でも；様々な形態のデイサービスの起業
- CF：認定こども園、学童保育、就労支援、ケアハウス、
訪問看護、教育・療育・医療機関の拡大など
- 両親&家族、障害当事者、療育支援者、
親の会、民間企業などが**運営主体として参画**



多様化するニーズ

- グローバル化・多様化するニーズ
- 療育者の役割が拡大する一方
- 求められる高い専門性
- 一人では担いきれない
- 多領域での連携・チームアプローチが必須
- 医療の進展の結果：
救命・重度化：在宅での医療的ケアニーズの増大
発達障害児の激増：乳幼児期・通常学級での対応に苦慮
- 見守り つながる支援システムのさらなる充実へ



7

